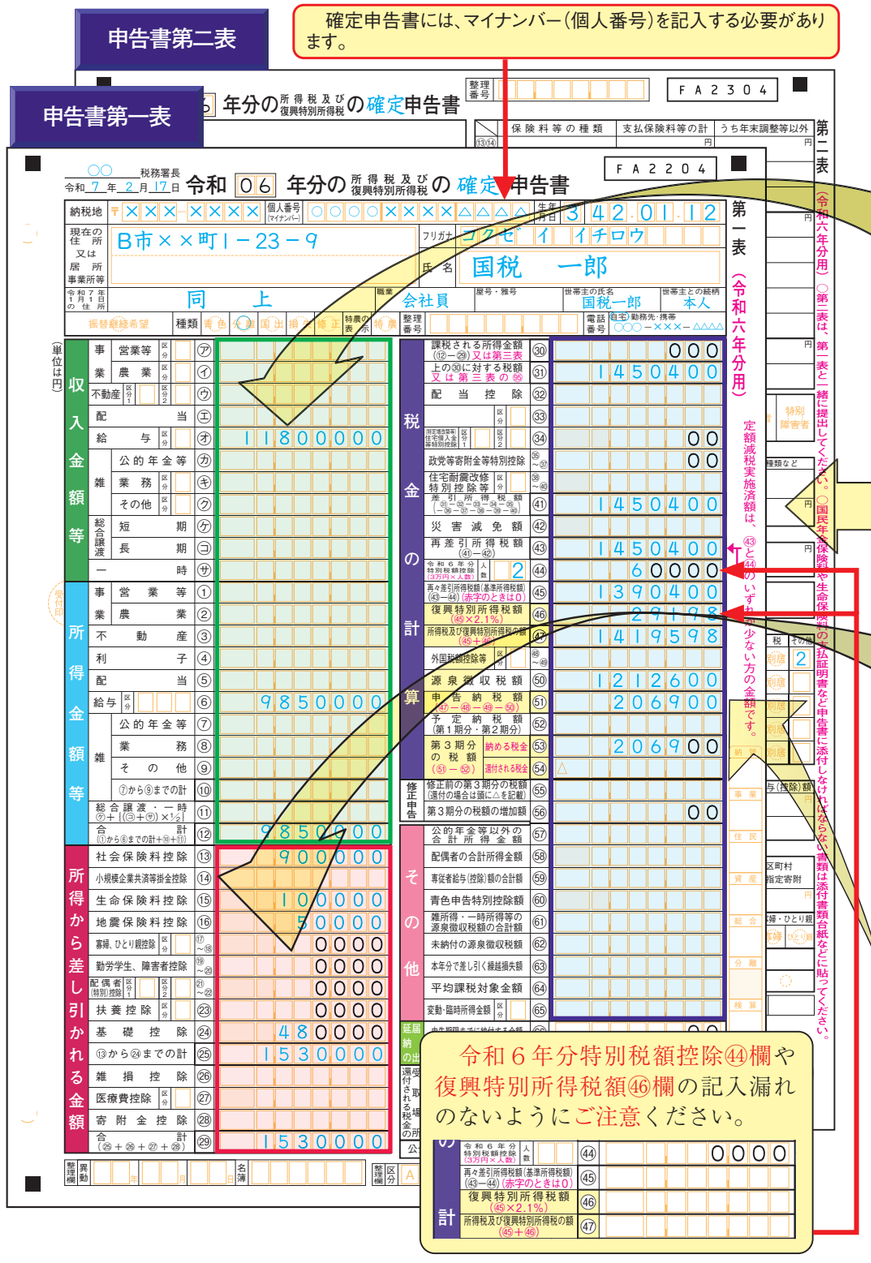
確定申告書の記載手順

○ 「**確定申告書**」は、「**申告書第一表、第二表**」及び「**申告書第三表（分離課税用）**」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例１】（６～13ページ）に基づいて作成した「**申告書第一表、第二表**」及び「**申告書第三表（分離課税用）**」を示して、申告書の記載手順を説明します。

○ 記載手順は、矢印と番号（❶～❼）で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、６ページ以降の【事例１】から【事例４】をご覧ください。

なお、「**確定申告書**」の作成に先立って、「**株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書**」などの各種明細書（国税庁ホームページからダウンロードできます。）を作成します（税制適格ストック・オプションの適用を受けて取得した株式を譲渡した場合など一定の場合は、使用する明細書等が異なります。詳しくは、46ページをご覧ください。）。

（手書きした部分は、便宜上、青色で表示しています。）



記載手順

❶ 「株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書」等を作成します。（6~7、14~15、20~21、26~30ページ参照）

❷ 第一表の **収入金額等** と **所得金額等** の箇所を書きます。（8、16、22ページ参照）

❸ 第二表を作成します。
第二表は、❷及び❹の記載と併せて作成します。
（第二表の記載例は、9、17、23ページを参照してください。）

❹ 第一表の **所得から差し引かれる金額** の箇所を書きます。（10ページ参照）

❺ 第三表の分離課税の **収入金額** や **所得金額** などの箇所を書きます。（11、18、24ページ参照）

❻ 第三表の **税金の計算**、**その他** の箇所を書きます。（12、19、25ページ参照）

❼ 第一表の **税金の計算**、**その他** などの箇所を書きます。（13、19、25ページ参照）

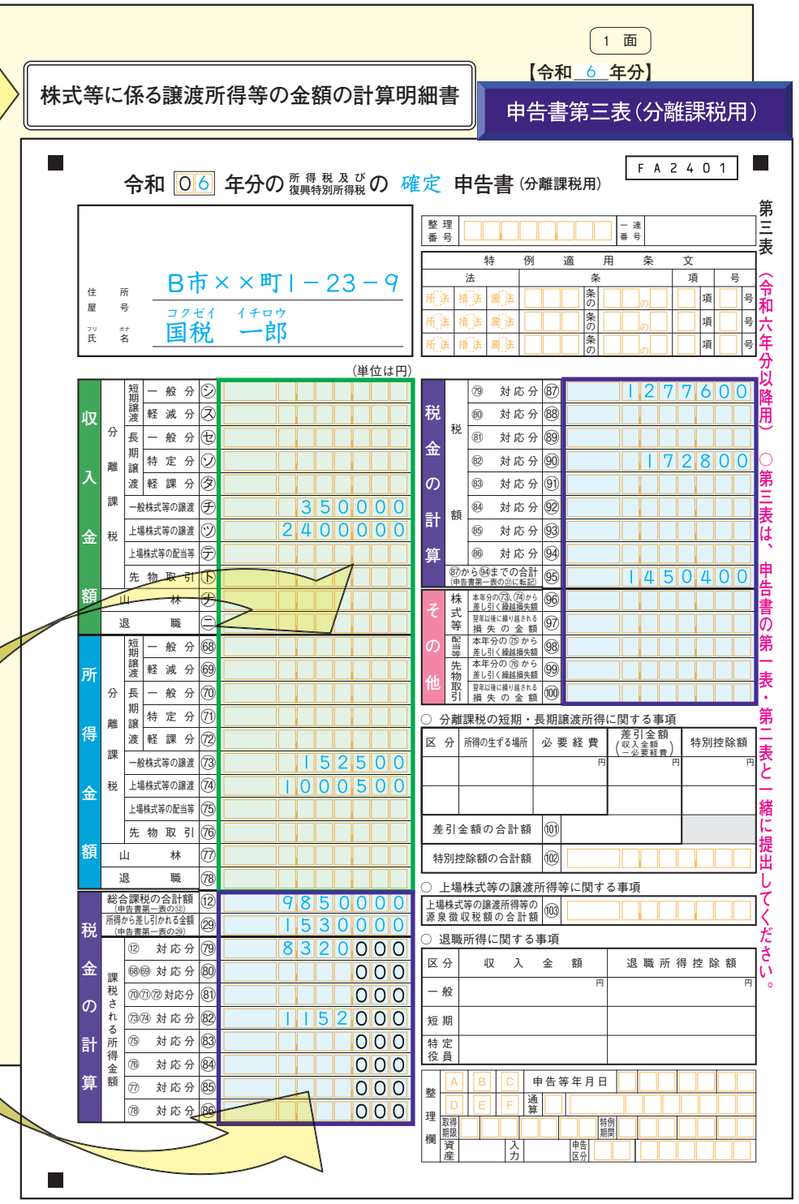
申告書記載に当たって

記載に当たっては、次の点にご留意ください。

1 申告書等は、黒いインクの**ボールペン**で書いてください（消せるボールペンは使用しないでください。）。
なお、複写式となっている申告書は、２枚目（控用）を取り外して使用しても差し支えありません。

2 フリガナは、濁点「゛」半濁点「゜」は**一字分**とし、姓と名の間は**一字空けて**ください。

3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
【記載例】 縦線1本　隙間を空ける　上に突き抜ける　角を作る　閉じる
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

なお、１億円以上の金額がある場合は、右の記載例にならって書いてください。
【記載例】（金額が1,234,500,000円の場合）
1 2 3 4 5 0 0 0 0 0

4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。
【記載例】 配当 ㋓ 123000 → 123000